

# 道東・道央支店からの 新年のご挨拶

新春を迎え、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心よりお喜び申し上げます。昨年中は、格別なご高配とご愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年の暮れには、新型鳥インフルエンザが発生し東南アジア始め世界中がその対策に走出しています。

酪農・畜産も多くの課題を抱えており、これらを克服する政策、推進（消費）が必要不可欠であります。

## ■米国産牛肉輸入再開へ

BSE発生により、禁輸となった03年12月以来2年振りに生後20カ月以下の牛に限り輸入再開される見通しです。この2年間、生産者はトレーサビリティ(生産、流通履歴のシステム)の導入、肉質の向上やブランド化に力を注ぎ消費者の皆様への『食の安全と安心』美味しい牛肉生産に努力されており、農家さんの意気込みが伺えます。

## ■2005年生乳計画および地区別出荷目標数量

北海道の05年目標数量は、04年生乳受託実績数量の2%増の377万4,856tが設定されました。消費が伸び悩んでいる中で2%増産は厳しいと見られております。しかし、現状を見据えた政策(新配分枠)でもあります。

- 1) 規模拡大を支援するリフレッシュ枠。
- 2) 新規就農を支援する枠。

昨今、経営形態では家族経営による規模拡大、数戸共同による法人経営化が進んでおります。これらの対策は、酪農後継者を始め新規参入の担い手に対して、希望の持てる政策であります。政策の実現に向け政府全体で国際化に対応しうる政策を推進していかなければ産業として発展はありえないと思われまます。

現場における生産者の声・捉え方は、経営の安定化を目指すには、牛群の健康や繁殖成績を向上させること。そのためには、優良草づくり(良質サイレージ、乾草)・飼料生産基盤の立て直しこそ重要な課題として受止めています。

一つは堆肥化の有効利用であります。自給飼料基盤に立脚した畜産物供給をする事です。これらは、自給飼料の拡大という側面だけでなく、良質粗飼料の安定的な生産、供給は健全な飼養管理につながるものであります。引き続き計画的な草地更新並びに簡易更新(追播)をお奨め致します。

弊社は、『健土健民』を創業以来会社の理念として[環境保全型農業]を目指して研究、事業展開をしてまいりました。今後とも[食の安全と安心]、自然・環境への配慮も含めて積極的に課題に取り組んでまいります。

今年も弊社の優良牧草種子を始め、園芸種子・乳酸菌・配合飼料等を通じて皆様にお役に立つ様、全社一丸となって努力する所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻をお願い致します。皆様の一層のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

道東支店長 橋場 義孝

新春を迎え、改めて皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からお喜び申し上げます。

昨年中は格別なご高配とご愛顧を賜りまして、心から厚くお礼申し上げます。

また、昨年は大雪による融雪の遅れから播種作業が大幅に遅れ、更には春先の低温により、とうもろこしや牧草の生育が遅れ心配しておりましたが、その後の好天続きに恵まれ一昨年に引き続き近年にない高収量となりました。

道内の酪農家戸数は、高齢化、担い手不足、平成16年11月からの家畜排泄法の施行により離農に拍車がかかり、8,000戸を切り減少しています。

一方では規模拡大が進んでおり共同経営や法人化が進み、更には国の構造改革の一環として平成15年4月から地域を限って規制緩和をしている構造改革特区などでは建設会社や食品メーカーなど異業種参入によるメガ、ギガファーム等の大型経営が増えており、各地でTMR事業、コントラクター事業、乳牛育成事業等効率良く分業化が進み乳牛の飼養頭数では若干の減少で留まっております。

今後は、改正農業経営基盤強化促進法や改正特定農地貸付法が平成17年9月より施行され株式会社など異業種からの農業分野への新規参入が促進されるものと思われまます。

生乳生産量は、昨年、一昨年の猛暑の影響で前年実績を割っており、一方では牛乳消費の低迷により脱脂粉乳の過剰在庫に加えバターも過剰となっており、今年の生乳需給動向が今後一層厳しくなることが予想されます。

また、アメリカ産牛肉の輸入再開、更にはWTO農業交渉による関税の引き下げが想定される等、酪農、畜産をとりまく誠に厳しい経営環境の中、皆様のお役に立つよう牧草飼料作物種子はじめ、配合飼料、単味飼料、肥料、農薬、野菜種子、乳酸菌、成長剤、各種酪農資材等、今後更に品質の向上、安定供給を念頭に安全、安心そして信頼をお届けできるよう努力する所存でございます。

本年も相変わらませぬ倍旧のご愛顧とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。皆様に取りまして実り豊かな年になりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

道央支店長 寺栖 喜久男

## 雪印種苗株式会社

編集発行人 長尾 漱  
本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号

TEL (011)891-5911

FAX (011)891-5774